

# 北東アジア動向分析

## 北東アジア概況

北東アジア各国（朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を除く）の2002年の主要経済統計が出揃った。以下では各国経済の状況を、GDP、インフレ率、貿易収支の三つの主要指標から概観する。

### 実質経済成長率（GDP）

中国の成長率は8.0%で前年の7.3%を上回り、域内各国の中で最も安定した高成長を記録している。

ロシアの成長率は4.3%で前年の5.0%は下回ったが、99年から4年連続のプラス成長を達成した。

モンゴルは3.9%で悪天候や主要輸出品価格の低迷といった悪条件の中、前年を上回る成長を記録した。

韓国は通貨危機による98年のマイナス成長以降、急速な回復を見せた。その後2001年は3.1%の成長に止まったが、2002年は6.3%と成長率を上げている。

### インフレ率（消費者物価）

中国の物価は 0.7%となっており、世界的に懸念されているデフレの兆候を示している。

一方、ロシアではインフレ傾向が持続しており、2002年においても15.1%と、前年よりは改善したものの高いイン

フレ率を記録している。

モンゴルもインフレ傾向が続いており、2002年には前年の8.0%よりも上昇し、9.8%となっている。

韓国は通貨危機による輸入物価の上昇で、98年には7.5%の物価上昇を記録した。その後は沈静化し、2002年は2.7%となっている。

### 貿易収支

中国は輸出の急増した97、98の両年に400億ドルを上回る黒字を記録した。その後輸入の増加により黒字幅は減少し、2002年には226億ドルとなったが、2003年は再び増加し304億ドルを記録した。

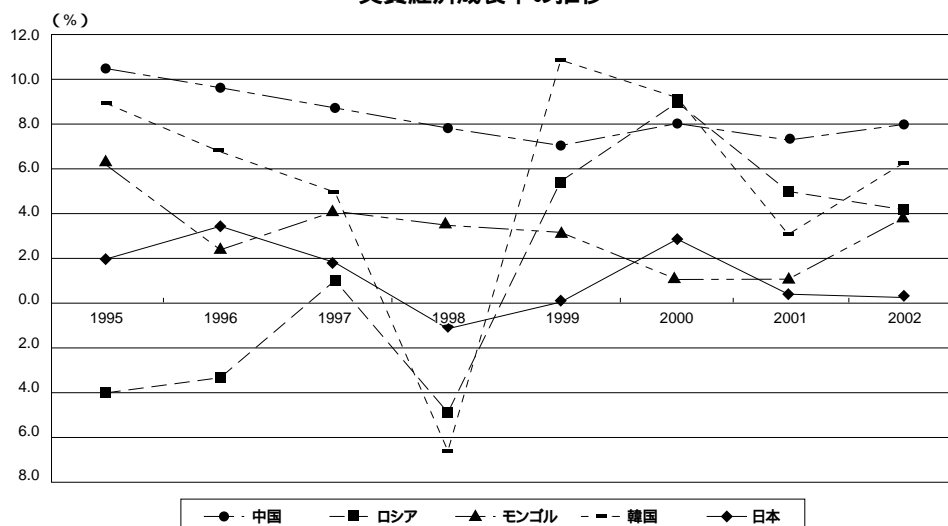
ロシアは99年以降、輸出の拡大と輸入の縮小によって貿易収支の黒字が拡大した。2002年は前年よりは縮小したものの、464億ドルに達している。

モンゴルは1.58億ドルの赤字となった。これで同国の貿易収支は96年から7年連続の赤字となった。

韓国は通貨危機以降、貿易収支の黒字が続いている。2002年は前年を上回り、141.8億ドルの黒字となっている。

（ERINA調査研究部研究主任 中島朋義）

実質経済成長率の推移



インフレ率の推移（消費者物価）

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
中国	17.1	8.3	2.8	0.8	1.4	0.4	0.7	0.7
ロシア	131.3	21.8	11.0	84.4	36.5	20.2	18.6	15.1
モンゴル	53.1	44.6	20.5	6.0	10.0	8.1	8.0	9.8
韓国	4.5	4.9	4.4	7.5	0.8	2.3	4.1	2.7
日本	0.1	0.1	1.8	0.6	0.3	0.7	0.7	0.9

貿易収支

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
中国	16,700	12,220	40,420	43,570	29,230	24,100	22,600	30,400
ロシア	20,310	22,471	17,025	16,869	36,130	60,700	49,429	46,400
モンゴル	58	27	17	158	155	79	116	158
韓国	4,444	14,965	3,179	41,627	28,371	16,872	13,492	14,180
日本	131,790	83,560	101,600	122,390	123,320	116,720	70,210	93,574